

九州新幹線全線開通という身近な事象を教材とし、授業を通して学んだ知識、調べ学習で得た資料をもとにした発表や意見交換を行う価値判断場面の設定を通じたイメージ形成が、わかる授業につながるかをご覧ください。

社会科（地理的分野）学習指導案

日 時 平成 20 年 11 月 14 日（金）第 2 校時
場 所 熊本大学教育学部附属中学校 視聴覚室
年 組 熊本市立竜南中学校 2 年 1 組
男子 16 名 女子 15 名 計 31 名
指導者 熊本市立竜南中学校 教諭 佐方法隆

1 単元名 「広がる地域間の結びつき ～交通がもたらす地域の変化～」 (東京書籍 P202～207)

2 単元について

(1) 単元観

現行の学習指導要領では、本単元について「我が国の地域的特色を地域間の結び付きの面から追究し、理解させることを主なねらいとしている。」と示されている。また新学習指導要領には「地域の交通・通信網に関する特色ある事象を中核として、それを物資や人々の移動の特色や変化などに関連付け、世界や日本の他の地域との結び付きの影響を受けながら地域は変容していることなどについて考える。」と引き継がれている。現在、世界は交通や通信により密接に結び付いており、世界的に見て日本は交通や通信の一つの拠点であるといえる。国内では航空路線や新幹線、高速道路の整備が進み、地域間の結び付きが強まってきた一方で、大都市（過密地域）と過疎地域の地域差も生まれてきた。本単元は地域間の結び付きに関するさまざまな資料を比較・関連させて、世界や日本の特色をとらえさせる単元と考える。

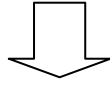
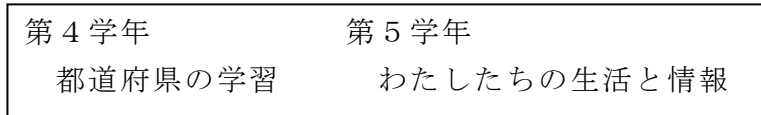
現在、熊本県は 2011（平成 23）年の九州新幹線全線開通を間近に控えており、100 年に 1 度の大きな変革の時と言われている。九州新幹線が全線開通すれば福岡や鹿児島は 1 時間以内で行くことができる生活圏内となり、また、関西方面も 3 時間の日帰り圏内となることで、観光客の増加も見込まれている。さらに、熊本市は九州新幹線の全線開通と合わせて、政令指定都市への移行に向けて近隣市町村との合併をすすめており、さらなる発展も期待されている。

しかし、それに反して、アンケート調査や各団体の試算の中には「熊本県の認知度の低さ」が指摘され、「現状では観光客の増加は見込めない」とか、「福岡県への集中が強まる（ストロー現象）のでは？」という情報も出ており、企業の支社の中には撤退を予定しているところがあるなどのマイナス面も数多く伝えられている。

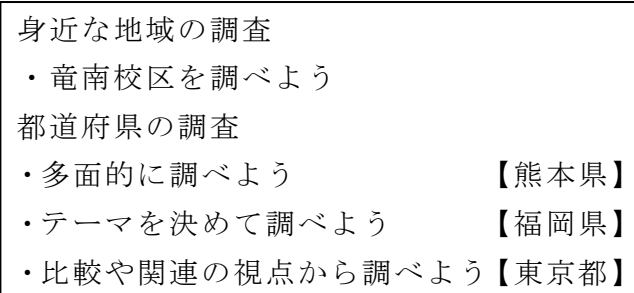
そのような中で、発展学習としての本単元では、身近な九州新幹線全線開通を題材として、熊本県の未来像を考えることで、日本の地域間の結び付きの現状をとらえ、考える機会としたい。

(2) 系統観

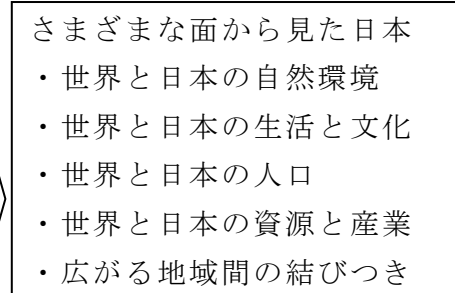
【小学校】



【中学校第1学年】



【中学校第2学年】



(3) 生徒観

本学級は男子 16 名、女子 15 名、計 31 名の学級で明るくて雰囲気も良く、体育大会などの行事にも意欲的に取り組む姿が見られる。学習に関しては、集中して授業に臨んでおり、教師の話に耳を傾け、真剣に取り組んでいる。また、男子生徒の中には積極的に発言する生徒もおり、女子は一つ一つの課題に対し、熟慮して答えを出すタイプの生徒が多い。以下は社会科に関する事前アンケートである。

<事前アンケート結果> 実施人数 30 名 実施日 10 月 14 日

- 1 社会科の学習には興味がありますか。
ある 10 人 どちらかといえばある 12 人 あまりない 7 人 ない 1 人
- 2 調べ学習は好きですか。
好き 9 人 どちらかといえば好き 13 人 どちらかといえば嫌い 5 人 嫌い 3 人
- 3 発表会で発表することは好きですか。
好き 2 人 どちらかといえば好き 8 人 どちらかといえば嫌い 15 人 嫌い 5 人
- 4 身近な地域のニュース（熊本県・熊本市）に興味をもって目を向けていますか？
向けている 4 人 どちらかといえば向けている 13 人
どちらかといえば向けていない 10 人 向けていない 3 人
- 5 身近な地域のニュース（熊本県・熊本市）について知っていることを知っているだけ書いて下さい。
・事故米が焼酎に使われていた 3 人 ・川辺川ダムの問題 3 人
・熊本市の合併 4 人 ・熊本でおきた事件・事故 3 人
・熊本城の本丸御殿 1 人 ・江津湖の藻の問題 1 人
- 6 九州新幹線はいつ全線開通する予定か知っていますか。
知っている 3 人 知らない 27 人
- 7 九州新幹線全線開通について知っていることを書いて下さい。
・高層ビルの建築 2 人 ・名称が つばめ 1 人 ・熊本駅周辺の開発 1 人
・現在の開通区間（鹿児島中央から新八代）1 人

(4) 指導観

事前アンケートの結果からもわかるように、本学級は社会科に興味をもつ生徒が多く、調べ学習が好きと答えた生徒も多い。反面、発表に関しては苦手とする生徒が多く、その大半は女子生徒だった。また、本校はN I Eの実践校として新聞の切り抜きなども行っているが、それ以外に時事的なことに触れる機会が少なく、身近な地域のニュースに関心をもっていない生徒も多い。その理由の一つに、2年生での地理的分野の学習が身近な地域を離れ、世界や世界と日本の関係を中心とした学習範囲が多かったことに関係があるのではないだろうかと思われる。そこで、本単元では内容をわかりやすくするために実際の写真などの視覚的資料を提示したり、実際に新幹線全線開通後の熊本づくりに取り組んでいる人の話を聞くことで、認識を深めさせたい。また、グループ学習を取り入れることで、社会科や調べ学習、発表を苦手としている生徒へのサポート体制をとり、生徒一人一人に自分の考えをもたせるようにしたい。

3 単元の目標

【確かな意欲】

日本の地域的な結び付きや日本国内の結び付きを、九州新幹線全線開通という身近な特色ある事象を中核として意欲的に学習させる。

【確かな知識】

交通網の整備により時間距離が短くなり、移動方法が変化したことを知るとともに、大都市への集中がおきたことや、地域間の格差が生まれたことを理解させる。

【確かな判断】

九州新幹線全線開通により変化する熊本県の未来像を考える学習の中で、自分なりに思考・判断し答えを導き出させる。

【資料活用の技能・表現】

地域間の結び付きとその変化について、様々な資料をもとにわかりやすくまとめ、発表する力を付けさせる。

4 単元の指導計画（6時間取り扱い）

過程	次	時	主な学習活動	おもな手だて	評価	理解
つかむ	1	1	本単元を通じた学習課題を知り、写真や資料をもとに、新幹線全線開通後の熊本県の変化を想像する。 【単元を通じた学習課題】 「どうなるKUMAMOTO～九州新幹線全線開通後の熊本県を読む～」	写真を提示したり、熊本県の学習を振り返ることで、想像する手がかりを与える。 新幹線開通に関わった人々の願いや苦しみ、思いなどを伝える。	九州新幹線の全線開通に関心を持ち、熊本の未来像を予想している。(ワークシート) 【関心・意欲・態度】	個別的 的事 実 理 解
イメージする	2		交通網の発達が日本社会へ与えた影響について	教科書や資料集などを使い学習	日本の高速交通網の変化と	

			考える。	する。	社会へ与えた影響を，二つの図から読みとることができる。(ノート)	
		1	交通網の発達・整備が地域にもたらした変化を，具体例を通して理解する。(具体例の中には，教科書だけではなく，同じく新幹線の開通した地域も例として取り上げる。)	1 次の予想をもとにホームグループを作る。	【技能・表現】 交通網の発達・整備が地域の産業などに与えた影響について理解することができる。(テスト)	【知識・理解】
再構成する	3	2	2次までの学習をもとにジグソーグループを作り，ブレインストーミングを行い，調べる内容を精選し，役割分担をする。分担した内容について調べ，根拠となる資料をもとにまとめる。	視点ごとにジグソーグループを作る。 ブレインストーミングを行うことで，調べる内容を多く出させる。	ブレインストーミングで調べる内容を出ることができる。(観察法)	概念的 理解
定着させる		1	調べ学習の結果をホームグループに持ち寄り，それぞれの視点ごとに考えを発表しあう。	ホームグループ内で視点ごとの結果を伝えることで，知識を共有する。	【思考・判断】 様々な資料をもとに検証し，内容をわかりやすくまとめ，発表することができる(発表資料)	【技能・表現】
ふくらませる	4	1 本時	ホームグループごとに意見交換をし，よりよい未来像を提案する。 ゲストティーチャーの話聞く。	ゲストティーチャーを活用することで，認識をより深める。	自分なりの熊本県の未来像を描くことができる。(ワークシート)	状況 理解
					【思考・判断】	

5 本時の学習

(1) 本時の目標

- 九州新幹線全線開通後の熊本県の姿を，自分の予想と本単元で得た知識，他者の意見を参考にして，明るい熊本県の未来像を描くことができる。

(2) 本時の展開

過程	時間	主な学習活動	教師の指導と支援 (予想される生徒の反応)	その他 教材・資料等																		
導入	3	1 これまでの学習を振り返り、本時の学習内容を確認する。【一斉】	○これまでの学習で使用した資料などを提示し、学習課題を確認する。	学習課題																		
展開	10	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> どうなるKUMAMOTO～九州新幹線全線開通後の熊本県を読む～ </div>			まとめた用紙 根拠となる資料																	
		2 視点ごとの考えを代表者が2分程度で発表する。【班別・一斉】	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>プラス面</th> <th>マイナス面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光</td> <td>・観光客が増える。 ・観光地が整備される。</td> <td>・日帰り客が増える。 ・熊本は通過点になる。</td> </tr> <tr> <td>産業</td> <td>・移動が便利になり企業誘致が進む。</td> <td>・企業の支店が福岡に移る。</td> </tr> <tr> <td>地域</td> <td>・自然体験に来る人が増える。(個人農園)</td> <td>・駅から遠い地域には関係ない。(地域格差)</td> </tr> <tr> <td>生活</td> <td>・県外の会社や学校にも通うことができる。</td> <td>・人が県外に移り住む。</td> </tr> <tr> <td>人々</td> <td>・人と人の交流が生まれる。</td> <td>・騒音や振動、立ち退きで困る人がいる。</td> </tr> </tbody> </table>			プラス面	マイナス面	観光	・観光客が増える。 ・観光地が整備される。	・日帰り客が増える。 ・熊本は通過点になる。	産業	・移動が便利になり企業誘致が進む。	・企業の支店が福岡に移る。	地域	・自然体験に来る人が増える。(個人農園)	・駅から遠い地域には関係ない。(地域格差)	生活	・県外の会社や学校にも通うことができる。	・人が県外に移り住む。	人々	・人と人の交流が生まれる。	・騒音や振動、立ち退きで困る人がいる。
			プラス面	マイナス面																		
観光	・観光客が増える。 ・観光地が整備される。	・日帰り客が増える。 ・熊本は通過点になる。																				
産業	・移動が便利になり企業誘致が進む。	・企業の支店が福岡に移る。																				
地域	・自然体験に来る人が増える。(個人農園)	・駅から遠い地域には関係ない。(地域格差)																				
生活	・県外の会社や学校にも通うことができる。	・人が県外に移り住む。																				
人々	・人と人の交流が生まれる。	・騒音や振動、立ち退きで困る人がいる。																				
22	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 九州新幹線全線開通を生かした熊本県の未来像を考えよう。 </div>																					
	10	3 ホームグループでそれぞれの視点から意見交換をし、内容を深め、明るい熊本県の未来像を提案する。【班別・一斉】	○様々な視点から考えることで、明るい熊本県を想像させる。	ホワイトボード																		
			<ul style="list-style-type: none"> ・各地域が地元の観光地の整備や特産品の開発に力を入れることで格差がなくなり、熊本県の魅力が増して観光客が増える。 ・水や自然など各地域の特色を生かした企業誘致をすることで、移転などよりも多くの経済効果を生み、産業が発展していく。 																			
		4 ゲストティーチャーの話聞く。 (1)提案した未来像へのコメントをいただく。 (2)現状や取り組みを聞くことで認識を深める。【一斉】	○県の取り組みの現状などを、これまで学習してきた内容に照らして合わせて話してもらう。 ・実際に整備予定のある新幹線以外の交通網についてなど、疑問に思うことを質問する。	GT(*地域振興部地域政策課)																		
まとめ	5	5 本時の学習の感想を書く。【個別】	○学習を通しての変化がわかるように感想を書かせる。	ワークシート																		

(3) 本時の評価

○授業を通して考えたり、知り得た知識をもとに、九州新幹線全線開通を生かした熊本県の未来像を自分なりに描くことができる。